

北上市広報活動基本指針

～戦略的視点を持った「伝わる」情報発信の推進～

令和3年4月



岩手県 北上市



【目 次】

- 1 基本指針策定の目的 …… P1
- 2 基本指針の位置付け …… P2
- 3 広報活動に求められる視点 ……P3～
 - ①市民自治を推進する広報活動
 - ②ブランド力を高めるための広報活動
 - ③メディアの特性を活かした広報活動
 - ④危機事象発生時を想定した広報活動
 - ⑤情報の受け手の多様性を考慮した広報活動
- 4 北上市の広報活動の現状と課題 …… P6～
 - ①情報発信後のリサーチ不足
 - ②情報発信の工夫が不足
 - ③地域情報を発信する意識が弱い
 - ④広報活動に関する職員知識の不足
- 5 北上市の広報活動の運営方針等…… P13～
 - (1) 広報活動の運営方針
 - (2) 広報活動の推進方針
 - (3) 広報活動において発信する情報
- 6 広報活動の運営体制 …… P17

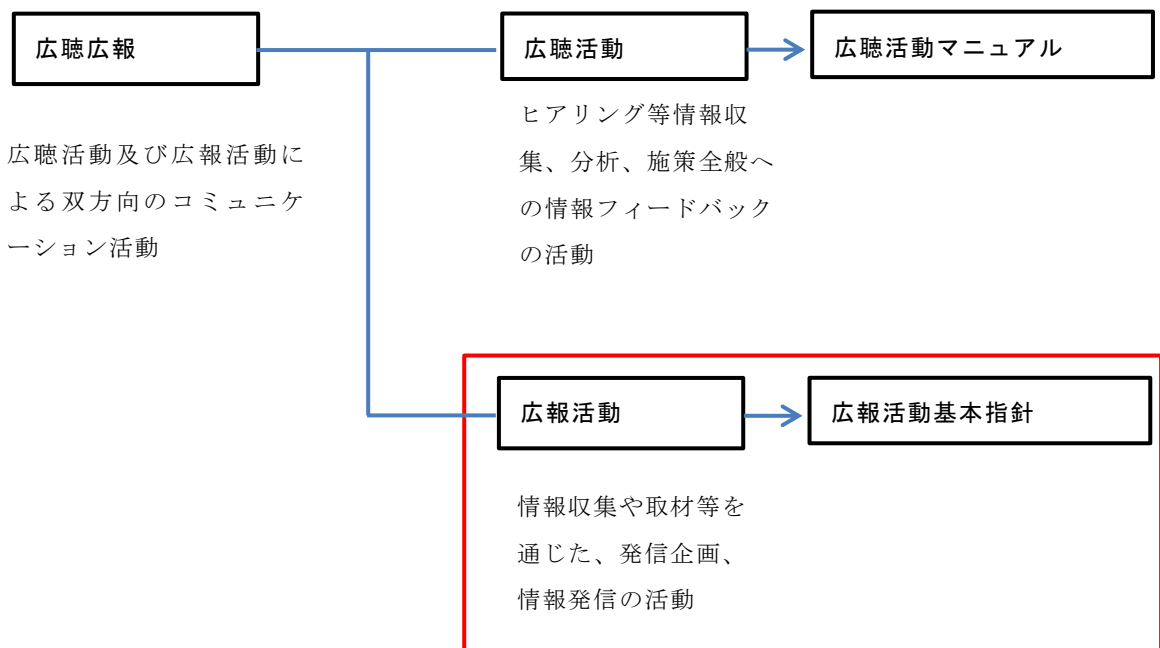
- 社会環境が目まぐるしく変化するなかで、まちづくりを行政が主導する従来型のまちづくりは難しくなり、市民と市政の動きや地域の課題を共有しながら、参加や協働を通じて、地域を運営していく視点がまちづくりにおいて重要となって来ました。
- また、今後も持続可能な「選ばれるまち」となるためには、北上市に対するシビックプライド[※]を基礎とし、市民や北上ファンが主役として魅力づくりや発信に積極的に関わってまちを育てていく、都市プロモーションの視点もまちづくりに必要となって来ています。
- 北上市は、総合計画に掲げる市民自治のまちの実現を目指し、これらの視点を踏まえた様々なまちづくりを推進しています。
- 様々なまちづくり活動においては、情報を知ってもらうことがその入口となることから、広報活動は効果的なまちづくりを進めるための手段として非常に重要なものであることを改めて認識するとともに、広報活動に対する視点も変えていかなければなりません。
- この指針は、職員一人一人が「政策の実現のための効果的広報活動」「住民のニーズに応える広報活動」「市内外に都市の魅力を発信する広報活動」等を意識して展開することにより、広報活動を、戦略的視点を持った都市経営のコミュニケーションツールとして発展させていくため、これからの運営方針等を明らかにするものとして定めるものです。

※シビックプライドとは

北上市という都市への愛着や誇りを持ち、自分自身が関わって地域を良くしていこうという当事者意識や自負心

広聴広報とは、市民等の声や社会情勢等の情報収集や分析を各種政策や施策に活かすとともに（広聴活動）、ニーズや状況に応じた情報発信を企画、実施することで（広報活動）地域社会のステークホルダー（関わる人）と良好な関係性を築く双方向のコミュニケーション活動です。

この指針では、北上市の広聴広報のうち、情報発信の活動である広報活動の在り方を規定していくものです。



近年、社会環境が目まぐるしく変化するなかで、行政に求められる役割も変化しています。そのため、広報活動に求められる役割も変化して来ており、現在は主に次のような視点を持つことが必要とされています。

1 市民自治を推進する広報活動

- 》 市民のニーズやライフスタイルは高度化・多様化し、行政に求められる事業範囲も拡大しています。
- 》 その一方で、人口減少により税収等が停滞するなか、行政がまちづくりを主導する従来型のまちづくりは難しくなり、市民の参画と協働によるまちづくりの視点が必要となってきました。
- 》 そのため、市民に「知ってもらう」「行動してもらう」ことができる情報発信や情報共有により、市民と行政の信頼関係を深めながら協力しあうことをより意識していくことが重要となります。
- 》 行政からの一方的な周知・伝達といった画一的な情報提供では情報が伝わりづらいケースもあることから、受け手のニーズを踏まえた情報発信を行うなど、市民と行政の双方向のコミュニケーションを意識した広報活動を展開することが必要です。
- 》 双方向コミュニケーションを意識した広報活動を展開することで、市民と行政との信頼関係が構築され、効果的なまちづくりの進展に繋がります。

2 ブランド力を高める広報活動

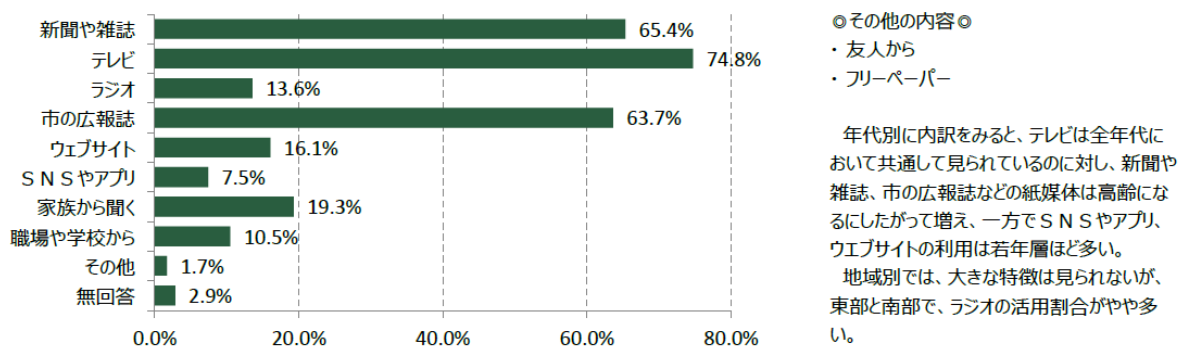
- 》 本格的な人口減少社会の到来に伴い、北上市には今後も持続可能な「選ばれるまち」となっていくことが求められています。
- 》 そのためには、まちの目指す姿を旗印にしながら、地域のポテンシャルを活かしたまちの魅力づくりや魅力発信により、良質な都市イメージを確立し、まちのブランド力を高めることが必要です。
- 》 まちの魅力は行政だけが作っているものではなく、市民や北上ファンが、地域の魅力を知り、育て、発信することにより形作られていくものです。このような魅力づくりや魅力発信を活発にするためには、その源泉となる市民のシビックプライドが醸成されていくことが必要です。
- 》 広報活動においても、観光情報だけではなく、子育てやライフスタイルなどまちづくり全般の情報について、市民や北上ファンの心を動かし、地域への関与と意欲が育まれるよう市内外に発信するとともに、広報活動に市民や北上ファンに積極的に

関わってもらい、市民や北上ファンが中心となってまちの魅力発信が連鎖していくような工夫が求められています。

3 メディアの特性を活かした広報活動

- 》 スマートフォンの急速な普及に伴い、フェイスブックやツイッターなどのSNSを利用して情報収集、情報発信を行う人々が増えています。
- 》 また、動画等による地域情報の発信が全国の自治体広報に広く取り入れられてきています。
- 》 このことから、市民等の関心を高め、情報を広く伝播させるための手法や、紙媒体、情報通信媒体等それぞれの特性を理解し、発信の目的に応じた効果的な手法を常に考えて、企画実施していくことが必要です。

生活情報（ニュース、イベント、行政情報など）をどのような方法で得ているか（頻度の高いものを3つまで）（複数回答）



市民の主な生活情報入手手段（H28 市民意識調査）



流山市移住キャンペーンコンセプト図（流山市視察資料より抜粋）

4 危機事象発生時を想定した広報活動

- 》 平成23年の東日本大震災の発生時、停電等により情報通信インフラがすべて機能しなくなり、危機事象発生時の市民への情報伝達に大きな課題が露呈しました。
- 》 何時どのような形で訪れるか予測が難しい災害もあることから、平時から防災に関する情報提供や非常時における情報共有体制の構築に取り組んで行くことが必要です。
- 》 災害のほか、市内や行政内部において事件や事故が発生した場合においても、行政に対する信頼を損ねることがないように、状況の開示や今後の方策等をしっかり示すなど、市民に対する説明責任を果たすことが求められています。

危機分類	危機の事例
甚大な自然災害	大地震、土砂災害、風水害、異常気象、火山噴火、不測の天変地異
特殊災害(大規模な事故)	大規模火災・爆発、危険物事故、放射性物質事故、ライフラインの事故
武力攻撃、緊急処理事態	武力攻撃事態、緊急処理事態(大規模テロ等)
健康危機	人への感染症被害、食の安全に係る事態、医薬品・薬剤・有害物質等による悪影響
生活上の危険	地域環境汚染(大気汚染・土壌汚染・水質汚濁等)、通り魔や連続放火、誘拐等の悪質な犯罪
市管理下の事故	主催イベントや事業での事故・事件、業務上過失・管理の瑕疵による事故、自治体施設の火災、自治体施設での食中毒、公務中の交通事故、自治体所有設備・機器の故障・誤作動、住民利用施設での不慮の出来事
市管理施設での事件	行政業務妨害・不当要求・威圧行為、自治体施設での犯罪・被害
不祥事	職員個人の犯罪、契約に係る不祥事、公金管理に係る不祥事、セクハラ・差別、職員の業務上過失・不適切な行為
情報セキュリティ	個人情報の漏えい、公文書の紛失・データ消失、情報システムの障害・停止、サイバーテロ、不正アクセス

危機事象の例（北上市報道機関等情報提供マニュアル）

5 情報の受け手の多様性を考慮した広報活動

- 》 障害者基本法や障害者差別解消法等により、自治体広報活動には誰でも情報を入力できる環境づくりが社会的に求められています。
- 》 国際化を背景に、外国人が多数居住したり、来訪したりしていることから、多文化共生社会等を意識した取り組みも必要とされています。

「広報活動に求められる視点」を踏まえ、市の広報活動の現状から見た課題は次のとおりとなります。

1 情報発信後のリサーチ不足

- 》 広報紙においては、市民生活に必要な情報を的確に発信されていると評価されていますが、発信した段階で広報活動が終了し、発信した情報がどのように捉えられているかなど事後のリサーチなどが実施されていません。
- 》 情報の受け手がどのように情報を入手しているか、発信した内容をどう捉えているかなどを知ることが、情報発信の工夫や、今後の改善に繋がっていきます。
- 》 「伝わる」情報発信には、発信結果のアンケートや社会情勢のリサーチなどを聴く仕組みとして取り入れ、継続的に広報活動の質を向上させることが必要です。

令和2年度市民意識調査における、市の情報発信に関する意見の一例

- ・自分から得ようと思わないと知らないままで損する情報が多いと思う。そもそも情報が得にくい。
- ・必要な情報を得るためにホームページを見る機会があるが、目的の情報に思うように辿り着けず時間が掛かってしまうことが何度かあった。
- ・市のホームページを見やすく、分かりやすく、更新を早くしてほしい。
- ・市の取り組みや現状などは、もっとケーブルテレビやラジオを通して知らせてもいいと思います。
- ・当地区では議員定数の削減での影響で議員がおらずあんまり市政に関する情報が少ない。そして市議員の数も少ないので情報不足。
- ・紛らわしい文章で通知を出さないでほしい（二度無駄足をふんだ事がある）。
- ・若い人はインターネットや足を運び情報を得ることができますが、お年寄りなどは困ったとき、どこに相談すればいいかわからない人も多くいます。交通の便はある程度仕方ないのですが、地域の集う場所をうまく使って情報配信をうまくできればいいのかなと思います。
- ・紙媒体の広報類（県広報紙も含む）は、廃止すべき（資源の無駄、環境保護への逆行）。
- ・広報の内容を充実すべきです。今の内容では物足りなさを感じます。

【他市で行われている工夫の例】

読者同士の交流や情報交換に、いろいろな声をお寄せください。 **ふれあい・語り合い** 読者の声

市報6月1日号の表紙を見て「あれ、これ市報？」と思いました。特集も、年ごろの息子をもつ私とはとても興味深く読ませてもらいました。お金がないなど、先のことを考えずに自分の特は前に進んだものですが、今どきの人は先のことを考え、慎んだものになりすぎているような気がしました。何事に悪い面と悪い面があるものですね。勇気を持って前進してほしいです！
(大山栄子さん・横手)

新緑の季節。草花の伸びる音が聞こえてきます。修学旅行先で中学生たちが横手市をPRしたことは素晴らしいですね。また、最近『横手市ぶらチャリ』のパンフレットを見つけました♪まだまだ知らないことばかり！その土地ならではの美味しい食材を求めて自転車でゆっくり回りたいです。
(kanさん・大森)

新市報になってから紙面が楽しく見やすくなりました。6月1日号の特集は、今までにない企画だったと思います。ただ、我が家にも結婚に消極的な子供がいます。出会いもないのですが、結婚しても生活費や先行きの不安で現実的に考えられず、希望が持てないのが原因です。就職先、給与、婚嫁など、若者にももっと希望の持てる街づくりを最優先にしないと、故郷の未来はないものと思います…。
(ゆくちゃんさん・横手)

6月中旬より、十文字さくらんぼまつりが始まります。まだ、緑色のさくらんぼですが、不思議なことにあと1週間もたつと赤く食べごろになってきます。やはりなんと言っても甘い佐藤錦が一番人気です。この時期は、十文字も活気づきます。多くの方々のご来場をお待ちしています。
(秋田丸丸さん・横手)

※5/16～6/15別冊分掲載

●春の山菜シーズンになりました。幸いなことに、近所の人や親戚が採ってきたワラビ、ゼンマイなどをたくさんもらえて、うれしくおいしくいただいています。ただ、熊との遭遇や山の事故には気をつけてほしいものです。
(アップルババさん・増田)

●去年に引き続き、山菜採りでの熊出没による負傷者が出ましたね。予測はされていましたが、やっぱり怖いんです。山に入る人は気をつけてくださいね。命の方が大事です。
(ネコママさん・横手)

●市報6月1日号の特集が面白かったです。良い印象、悪い印象とさまざまな考えがあり…。どちらを選択しても、それぞれの幸せがあると思うので、未婚で結婚意思のある方にはプレッシャーをあげず、見守ることも大事なのかなと思いました。
(A. Mさん・増田)

今月の読者プレゼント
平成29年度 国立美術館巡回展 ミューズ(芸術の女神)まなざしの先的女性たち ご招待券

国立西洋美術館に所蔵されている約100点の作品をご紹介します。芸術家たちのまなざしを捉えた、魅力あふれる女性たちの姿をお楽しみください。おたよりをお寄せいただいた方の中から抽選でペア5組10名様にご招待します！

◎提供・問合せ 秋田県立近代美術館 ☎33-8855
◆開催期間：7月15日(土)～9月18日(月・祝)
◎しめきり 7月25日(当日消印有効)
◎賞品の発送をもって発表にさせていただきます。

※願書の提出上、お寄せいただいた内容は公開する場合があるため、ご記載ください。 ※ご記入いただいた個人情報等は、記事の作成および今後の募集の目的に使用し、この目的以外には使用しません。

おたよりお待ちしています
市へのご意見や市報の感想など、200文字以内で、はがきや封書、ファクスで下記のおて先までお送りください。必ず住所、氏名、年齢、連絡先をご記入ください。
(市報に掲載する際にペンネームやニックネームを希望する方は、氏名の後に記入)

おたよりのおて先 〒013-8801 横手市中央町8番2号 横手市役所 秘書広報課 広報係あて ☎ 35-2221

【秋田県横手市の広報紙】

広報活動に聴く仕組みを取り入れている。市民の感じ方や気になっていることを把握し、情報発信に工夫を加えることが、伝わる広報活動に繋がって行く。また、本企画は読者目線の地域情報発信という市民参画の側面も併せ持っている。

【盛岡市の公式HP】

ウェブサイトにアンケートを設け、データ収集を行っている。意見は、定期的に記事掲載課にフィードバックし、改善に活かしている。

広報もりおか平成29年8月1日号「子育て応援特集」アンケート

広報もりおか平成29年8月1日号の「子育て応援特集(1～5ページ)」について、記事の内容やデザイン・レイアウトへのご意見を募集しています。ご応募いただいた人の中から抽選で10人に盛岡特産品ブランド認証商品をプレゼントします。当選者の発表は商品の発送をもって代えます。

応募は、下記の「広報もりおか平成29年8月1日号「子育て応援特集」アンケート応募フォーム」からお願いします。また、はがきでも応募を受け付けています。はがきの場合は、(1)記事の内容へのご意見(2)デザイン・レイアウトへのご意見のほか、住所・氏名・職業・年齢を明記し「〒020-8530(住所不要)盛岡市役所 広報広報課」へ郵送してください。

【応募締め切り】8月14日(月曜) 17時
※はがきの場合は、同日消印有効



広報もりおか平成29年8月1日号表紙

● [広報もりおか平成29年8月1日号「子育て応援特集」アンケート応募フォーム](#)

関連情報

● [広報オンライン：広報もりおか平成29年8月1日号](#)

よりよいウェブサイトにするために、このページにどのような問題点があったかをお聞かせください。(複数選択可)

- このページに問題点はありましたか？
- 情報が十分掲載されていなかった
 - ページの構成がわかりにくかった
 - 文章や表現がわかりにくかった
 - この情報を見付けるのに時間がかかった
 - 古い情報なので参考にならなかった
 - 特に問題無くわかりやすかった

送信

2 見てもらう、知ってもらうための工夫が不足

- 》 共通広報媒体での広報活動は「各課からの提出原稿をベースに、情報を取りまとめ、都市プロモーション課が編集し発行する（広報紙）」、「各課の独自判断で情報を掲載し、記事内容も各課の責任（ホームページ）」という業務効率を重視した形で実施されています。
- 》 そのため、情報発信に統一感・一体感がなかったり、市が何に注力し、どんなまちを目指しているかなど、北上市の顔が見えづらい広報活動になっています。
- 》 市民等に「政策について知ってもらいたい」「まちの課題に関心を持って参加してもらいたい」ときには、「誰に」「どんな内容を」「どのように（デザインも含め）」「どんなタイミングで」発信するかを考え、工夫することが必要です。
- 》 また、より多くの市民に知ってもらうためには、適切な広報媒体の選択や、広報媒体同士を連動（クロスメディア）させていくことも必要です。

都市プロモーション課が管理する組織の広報媒体（令和3年4月時点）

種 類	対 象	内 容	目 的
「広報きたかみ」	市民	月1回（第4週）約38,000部	市民に行政情報、まちの話題をお知らせする
市勢要覧	市民、来訪者、市外の人	・要覧（年150冊） ・概要版（年300冊）	市の概要や魅力をPRする
市民生活ガイド	市民	新規作成時や転入時に配布（2年間）	市民及び転入者の生活利便性向上を図るため、生活情報を伝える
市公式HP	市民、来訪者、市外の人	市公式HPの設置 行政情報の発信 施策に関連する地域情報の発信	行政情報を市内外に向けて発信する
市公式YouTubeチャンネル	市民、来訪者、市外の人	プロモーション動画など北上市の魅力等を端的に紹介	市民及び市外の人へ、北上市の魅力を伝える
市公式facebook	市民、来訪者、市外の人	行政からのお知らせ	観光やイベント情報、まちの話題、各課からのお知らせなどリアルタイムに提供する
市公式Instagram	市民、来訪者、市外の人	魅力的な写真や動画を投稿	市の魅力を発信し、都市ブランド力を向上
広報放送（ケーブルテレビ）	ケーブルテレビ視聴世帯	しらゆりだより（特集番組）年10回 2週間同内容を放送 情報チャンネル（行政情報お知らせ）	市からのお知らせをテレビを通じて伝える
広報放送（コミュニティFM）	市民、来訪者	行政情報や地域情報の発信 1週間225分（1日5分×9回、週1回生放送）、災害情報	地域の魅力を知ることで「地域への愛着と誇り」を醸成するほか、災害時の情報伝達
デジタルサイネージ	来庁者	各種行政サービス情報	窓口手続きの空き時間を利用し、行政情報を来庁者へお知らせする
ニュースリリース	北上記者クラブ等マスメディア	定例記者会見でのリリース	新聞や、テレビ等のマスメディアに取り上げてもらうことで、県内外の多くの人に情報をお知らせする
記者会見	北上記者クラブ	市長の公式見解等の発表 定例記者会見 原則月1回 臨時記者会見 状況に応じて	通常ニュースリリースよりも特に取り上げてもらいたい事項を発表する場

広報紙での特集記事作成の事例（情報発信の工夫事例）

特集を作る理由

課題やテーマを深く掘り下げるほか、
各分野で活躍している人に出会って、
想いを語ってもらうことにより、
 まちづくりの熱を町全体に伝播させる。

一行政施策への深い理解、町に対する誇り、
まちづくりへの参画・行動につなげる



広報紙での特集記事作成の一例（山形県朝日町）

真夜中の出動
 町の除雪が上手い理由

「朝日町の雪国って、除雪が行き届いているよね、とつても褒められるよーい」……。毎年冬になるとこうした声が町民から聞かれます。町の道路は雪が、どのように解消しているのでしょうか？9月の特集では町の道路除雪の裏面を紹介します。

「朝日町は雪国で、冬は雪が降り続きます。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。」

「朝日町は雪国で、冬は雪が降り続きます。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。」

広報きたかみでも重要課題や話題をテーマとした特集を企画し掲載している

犯罪を防ぐ～防犯は地域が主役～

「朝日町は雪国で、冬は雪が降り続きます。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。」

「朝日町は雪国で、冬は雪が降り続きます。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。」

犯罪を防ぐ～防犯は地域が主役～

「朝日町は雪国で、冬は雪が降り続きます。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。」

「朝日町は雪国で、冬は雪が降り続きます。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。」

犯罪を防ぐ～防犯は地域が主役～

「朝日町は雪国で、冬は雪が降り続きます。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。」

「朝日町は雪国で、冬は雪が降り続きます。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。町民の生活に支障をきたさないよう、道路の除雪は欠かせません。」

広報媒体同士の連動（クロスメディア展開の事例）



【神戸市の広報紙とHPの連動】

神戸市は「若者に選ばれるまち+誰もが活躍するまち」というテーマを設定し、まちの総合力を高める施策に取り組んでいる。若い世代にも広報紙を通じて市政に関心を持ってもらうため平成29年5月に広報紙をリニューアル。広報紙とHPを連動させ、新しい取り組みの理解促進とともに関心を高める発信を行っている。

公式HPの効果的活用（施策横断的な情報発信事例）



市の情報を調べに来た方を、都市ブランド情報へも効果的に誘導するような仕組みを取り入れる自治体が増えてきている。（栃木県宇都宮市の例）

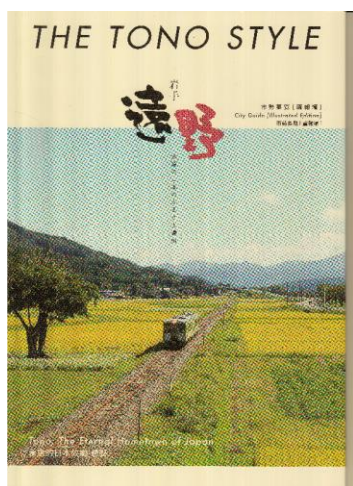


3 地域情報を発信する意識が弱い

- 》 これまでの広報活動では、行政機関の広報媒体であるがゆえに、行政情報の発信が前提とされ、地域情報を積極的に発信すること自体あまり意識されてきませんでした。
- 》 北上市を知ってもらい、関心を持ってもらうため、市内外に対する地域情報の発信が必要になってきました。
- 》 各広報媒体の特性も踏まえて、広報活動に市民の参画を図るなどの手法を取り入れながら、地域情報を市内外に積極的に発信していく視点を広報活動に取り入れる必要があります。



「北上市公式 Facebook」



遠野市市勢要覧【画報編】



船橋市役所発行
地域ガイドブック

4 広報活動に関する職員知識の不足

- 》 公用文と同じ感覚で作成されている広報原稿が多く、言葉が難しかったり、情報量が多かったりと、「わかりやすさ」を意識したものは少ない状況です。
- 》 チラシ等の広報物作成についても、作成する職員個人の力量に左右されるところが多く、中には内容が上手く伝わらないものも見られます。
- 》 オール北上市役所で「伝わる」広報活動を推進するためには、職員一人一人が広報活動の意義を改めて理解し、公用文と広報文の使いわけなど、広報活動における最低限の知識と技術を身に付けることが必要です。

「について」禁止令

文例

- × 消費税について
- 消費税の表示方法が変わります

役所の起案文や通知文のタイトル・見出しは「～について」です。そのため、広報文でも同じ書き方をしてしまいがちです。しかし、公用文と広報文は文書の目的や読者が異なります。「～について」では、「～についての何なのか？」がわかりません。

「公務員の悩まず書ける！伝わる！SNS・文章術」小田順子著 より引用

1 広報活動の運営方針

- 北上市の広報活動では、「市民自治の推進」や「北上市のブランド力を高める都市プロモーション」を意識した広報活動を推進して行く必要があります。
- 市民が誇れるまちの実現に向け、まちづくりにおける方向性を踏まえて、戦略的視点を持った「伝わる」情報発信を前提に広報活動を運営していきます。

広報活動の運営方針

市民が誇れるまちを実現するため、
戦略的視点を持った「伝わる」情報発信を推進する

これからの広報活動のイメージ図

	広報活動の目的	手法(目標)	効果
市の 広報活動	市民自治の推進	双方向コミュニケーション	情報共有・信頼→参画、協働
	都市プロモーション (市のブランド力向上)	市民のシビックプライドの醸成	愛着・誇り・自負心→参画、まち育て活動、 推奨
		市外の人に関心惹起と共感醸成	関心・共感→来訪・購買→推奨、支援

2 広報活動の推進方針

運営方針を踏まえ、広報活動は次の方針により推進します。

推進方針 1 広報活動にかかる情報収集・分析体制構築

情報の受け手がどのような情報を必要としているか、発信した内容がどう捉えられているかなど、継続的な自己修正に繋げるデータ収集、分析体制を構築します。

推進方針 2 広報媒体の質の向上

今ある共通広報媒体について、その役割等に応じ、受け手の関心や興味を引く情報の出し方やデザイン向上等、質を高める取り組みを継続的に実施します。

推進方針 3 戦略的な広報活動の推進

総合戦略や、重要課題など各種重点施策を意識した、メッセージ性のある広報活動を推進するほか、施策横断的プロジェクトについては、各事業情報を統合し一元的かつ効果的な広報活動を推進します。

また、障がい者や外国人に配慮した広報活動を推進します。

推進方針 4 積極的な地域情報の発信

まちへの愛着と誇りが高まるよう、市民の参画を得ながら地域の良さを積極的に発信するとともに、地域情報を入手できるプラットフォームを構築し運用します。

推進方針 5 組織及び職員の広報力の向上

職員一人一人が広報担当として、広報活動に必要な最低限の知識と技術を身に付けるための取り組みを実施します。また、広報活動全般に専門家にも関わっていただきながら、広報活動の庁内マネジメント体制を確立し、着実な運用を図ります。

3 広報活動において発信する情報

広報活動においては、次の3つの情報について、市内外に発信していきます。

1 「行政情報」(主な発信対象：市民、来訪者)

- ・ 行政の広報活動の根幹となる政策、施策及びこれらに関する関連情報
- ・ 国民、県民、市民としての権利、義務等に関する関連情報
- ・ 市政の課題の解決等に向けて市民の参画を促したい情報

2 「危機管理情報」(主な発信対象：市民、来訪者)

- ・ 緊急時に、市民の生命、安全、権利保護等のために発信する情報
- ・ 地域や行政への信頼を確保するために、公表することが必要な情報

3 「地域情報」(主な発信対象：市民、来訪者、市外の人)

- ・ 地域の話題、イベント、地域づくり活動など、地域のタイムリーな情報
- ・ まちの課題の解決等に向けて市民の参画を促したい情報
- ・ 市民、団体、企業等も含めた地域の魅力に関する情報
- ・ 観光、消費等、北上市の活性化につながる地域の情報

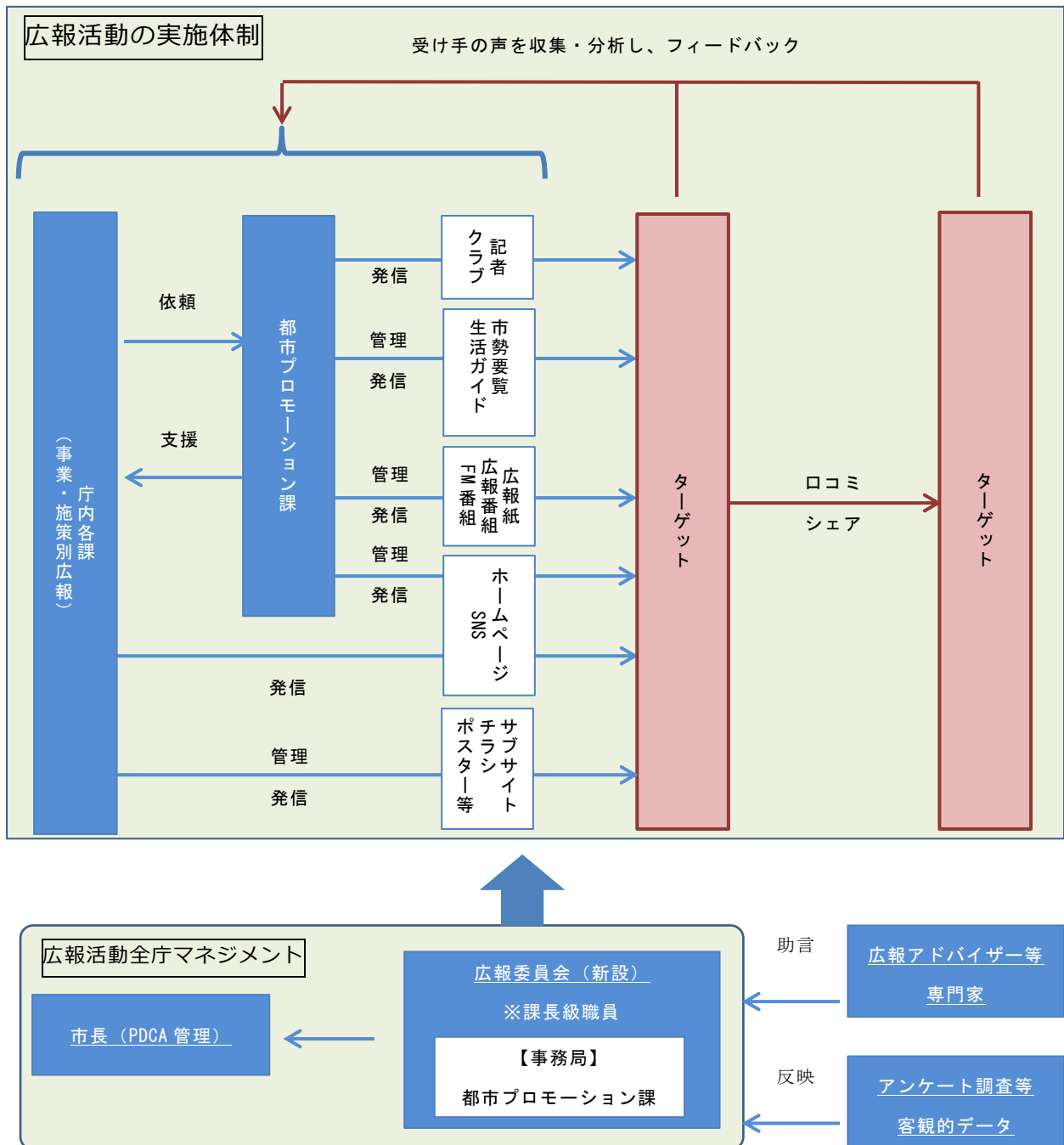
「市民」の定義

市内に住む者、市内で働く者及び学ぶ者並びに市内に事業所を置く事業者及び市内でまちづくり活動をする団体(北上市自治基本条例第3条第1号)

6

広報活動の運営体制

- ・ 広報活動の推進においては、広報委員会を設置し、各種広報活動に関する総合的な進捗管理等を行います。
- ・ 必要に応じて、広報アドバイザー等専門家も活用します。
- ・ 各課は都市プロモーション課と連携して広報活動を推進します
- ・ 都市プロモーション課は、施策横断的な広報活動を推進するほか、各課の広報活動を支援します。
- ・ 情報発信においては、双方向コミュニケーションを可能とする、情報収集等の仕組みを組み込んでいきます。





作成： 北上市（令和3年4月）
担当： 企画部都市プロモーション課
〒024-8501 岩手県北上市芳町1番1号